



もったいないを常総ブランドに

常総市のブランド確立について



議員

最近、新たな取り組みをして、それを地域の名産・名物とする動きがある。そこで、食品ロスの軽減についての質問をした。今回、時間と労力、思いが込められた生産物が市場に出ることなく土に返されている現状に着目し、当市の食品ロス軽減に対する取り組みを尋ねる。

経済環境部長

市として、取り組みは行っていない。常総ひかり農業協同組合では、契約農家との間でB級品や規格外品の販路がある。

議員

例えば、形がいびつで正規品では売れない物を加工して販売経路を見出すことも一つの策として考えられる。当市の食品加工等で正規品とは違う形で品物を扱う企業の把握状況を探ねる。

商工観光課長

26年経産省の調査で製造業は247社。製造品出荷額は県内8位、人口一人当たり食料品製造業の出荷額は全国6位と比較的上位を占めている。

議員

とても恵まれた環境にあるのだから、生産者と企業との橋がけのような取り組みが欲しいが、考えはあるか尋ねる。

経済環境部長

今は無策だが、優良企業が多く存在するため、今後は食品ロスを軽減する方向で検討したい。

議員

今後の展望として何らかの施策があるか尋ねる。

経済環境部長

直近では、朝市による軽トラ市という販売手法を今年度はやっつけていく。アグリサイエンスパレーとタイアップして食品ロスゼロ及び農家や企業が利益を生み出せる街づくりが常総ブランドになると考えている。

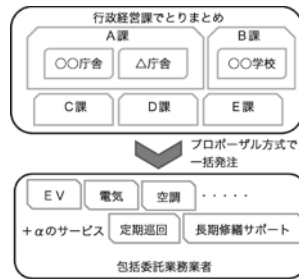
関 優嗣 議員



包括施設管理業務委託は

○か×か

包括施設管理業務委託について



議員

包括施設管理業務委託の導入を目指しているということだが、金額ベースで5年契約の1億数千円、5年だと数億円の予算規模になるので、まだまだ多くの議論の余地があるのではないかと5月に予算を編成して、9月には業者を選定し契約に持っていく、来年実施の意向という話は聞いているが、スケジュールは遅れているのか。またメリットとデメリットを含めて伺う。

総務部長

市では、施設の維持管理業務

を一括して発注する包括施設管理業務委託の導入を検討しているが、現在、再度業務内容の見直しを行っている。主な見直し内容は、本業務の対象が施設管理であることに鑑み、公園等の植栽業務を項目から除外したほか、小規模修繕工事についてもこれまで通り地元業者に対応していた方向で除外した。そのためスケジュールについても前回議会でも答弁した来春からの実施段階には至っていない。

議員

予算規模もそれなりなものだから、やはり幅広く意見を吸い上げてじっくり時間をかけて検討する必要があるのではないかと考えているが、今後のスケジュールについて伺う。

総務部長

現在、対象事業や業務内容等の見直しを行っている。詳細に見直し作業を実施し、内容が整い次第、議員の皆様には相談させていただきたい。

議員

まだ、整理しきれていない部分もある。十分な検討を加えて必要に応じて、議員にも早め早めに情報提供等、相談をして進めていただきたい。

新田 宏安 議員